の光景なり。結果なり。民
衆皆徒らに叫ばんや。

総選擧は又厄介だね、何れ五月頃ぢやらうが今度は小選擧區制だから候補者も澤山出て競爭も随分烈しいことゝ思ふ、それに普選なんごを標榜して立つ候補者に對しては勞働者などの應援的示威運動も[illegible]へば[illegible]氏は重忠のため解散を知らず同黨員内藤正剛氏は『二三日中に會合して方針を確定する』と昂奮せる面容で語り、國民黨支部が[illegible]の憲法史上に一大新記例を貽したもの、貴族院で虐められるのが面倒さに解散を行つて衆議院に絶對多數を占め貴族院を壓倒するこいふ魂膽も解散の有力な理由であらうがこれを看破した貴族院は滅茶々々だ、何れにしても今のまゝならば大差もあるまい、而し或意味から云つて現内閣の瓦解もよからう、成金も誡らう意味なき勞働運動の沈靜もしやうと云ふものだ云々

警戒の警官も度膽を抜かれて譯もなく解散だ解散だと騒ぎ廻り警戒も遮斷線も顧みない

やつと森村議會の會議に居た警官が二十名駆付けて正門前を塞ぎ陣形が整つた、議院門内廣場の自動車や俥は背を光らしながら右往左往にザワ付く何んとなく悲壮な色を加へた眞先に井上[illegible]將軍の自動車

續いて黒須代議士普選の誓約を風呂敷に包んで脇の下に抱へてゐる『萬歳萬歳普通選擧の爲に此位の好機會はない我黨は同志三百の候補を擧げて一大勢力を作る、普選の勝利は掌中にあり』と氣焔を吐く

此時日比谷の民衆は解散の際を聞いて議院目蒐けて押寄せたが遮斷線で追散されバラ〳〵に散つた、政友會代議士は民衆の散つたのを知つてやつと安心した面持で議院を退出した原首相は緊張し切つた顔で七時二十分議院を出て自動車を官邸に飛した(東京電話)

[illegible]した各黨本部

[illegible]藤總裁曰く『非立憲の極みだ』

國民黨犬養總理曰く『前後八回の解散中今回程甚しきはなし』

[illegible]友會本部では『萬歳々々』

本部の窓々の蒼白い顔は烈しい怒りに一入蒼く見ゆる

『諸君解散は我が議會開會以來是で八回である而も八回を通じて其無法亂暴今日の如きはないのである』

此處にも白頭首相呪咀の叫びに満堂熱するの有樣、一方

政友會

本部を覗けば正門の扉は堅く閉鎖されて内から正服巡査の眼が幾つも闇に光る門前愛宕署の物影には五六十名の私服警官隊が黒い集團を作つてひそ〳〵と恐ろしい物の襲來を待構へる有樣、裏門から警官に誰何されつゝ本部内に入れば食堂は大混雑今日から前々代議士の山内確三郎君を始め院外團數十名の諸君目刺を肴に冷酒の祝宴今更の酣である『政友會萬歳』『解散更に萬歳』政府政友村の當り年、豊年ぢや豊年ぢやとある(東京電話)

解散と製鐵所

豫算實行不可能と職工増給問題の今後

八幡製鐵所職工側實行委員八名は二十六日午後七時小島若松署長及び中山小倉憲兵隊長立會の上製鐵所樓上に於て白仁長官始め幹部役員側と會見最後の回答を求むると共に職工間に於て問題となりたる二十四日迄の賃金支拂の件をも其實現を促したるに長官は依然『議會の經過』を楯に例の如く冷淡なる態度に出で賃金支拂に對して『他工場に去れる者には此の際支拂ふは可なり』と答へしも此の時

突然議會解散の飛電ありしかば俄然雙方の態度緊張し委員等は議會解散により『豫算の實現不可能となりたり貴下は之に對し如何なる處置を執るや』と突込めば長官は稍困りたる面容にて『豫算實現の見込を失ひしも自分は諸君の意のある所を了解し居れば今後は飽く迄も君等の爲に努力すべし』と答へ委員等は尚も確答を迫らんものと然らば責任支出でもして呉れ」と切り込みしに『是は今明言し兼ねる』と逃げたれば委員側は夫等の追窮は無用なりとし同八時退散したり(八幡電話)

安河内知事

實狀を視察

安河内福岡縣知事及び天宅内務省警保局事務官は二十六日八幡に至り實狀の視察を爲し直に製鐵所に白仁長官を訪ね、打合せする所ありし後八幡署に到り連日警戒の任に當り居れる警官を集め訓示を與ふる所ありたり

安達檢事正

各檢事の調査中

福岡地方裁判所安達檢事正は八幡署に出張し一色、兒玉、金子、阪本の各檢事と共に極力調査中なり

不安を感ぜる職工

五六十名の一團

友愛會支部を訪ふ

無期休業の結果は一般職工に對して比較的大なる影響を來しつゝあるものゝ如く特に最も苦痛を感じ出したる職工中の約五六十名は廿六日午後五時頃一團となりて友愛會支部を訪ひ實行委員に面會を求めて其の結果彼等の生活を脅威することの甚だしきを訴へ

實行委員は幸ひ二十六日夕長官こ面接の機あれば此際能く吾等の窮狀を救ふべく速に去る二十四日迄の賃金を即時支拂はるゝ樣、長官に直接交渉ありたしこ訴へ、もし此の希望容れられざれば吾等にも相當の考へありこ頗る強硬の態度に出でたるが實行委員等は直に協議會を開きて二十六日午後七時長官こ會見の際改めて希望條件こして提出することゝなりたり

長官歸任後の策戰

木村錠吉氏談

八幡署及び彌生座に報告演説會を了りたる友愛會木村錠吉氏は今後の行動に就き語る

『今から友愛會支部に引揚げて更に委員會を開き今後の行動に就き協議する筈であるが兎に角白仁長官が歸幡したので電話で以て事務所に今問合せ中であるから其の返事を待ちて直に長官を訪問し過般の要求に對しては當時發表されたる以上に出來ざるや否を追窮し長官の意嚮を確めたる上其の回答に依り更に協議會を開き今後持久戰に出づるか就業するかを決定する筈である』云々

同志會軟化

罷工事件に就き同志會にては態度決定の爲二十六日午前十時頃より本部にて幹事會を開き幹事二十餘名出席し此際同志會としては勞友會友愛會を援助して主張の貫徹に努むるか又は單獨行爲を執るかに就き最後の決定をなすこゝなり鳩首凝議の結果穏場一致單獨行爲を執ることに決定したり(八幡電話)

大打撃

組長等宣言

製鐵所各工場組長並に伍長は無期休業の爲各自受持工場職工中罷業の意思なき者までが多大の迷惑を蒙るに至りしより之が善後策を講ずべく二十六日午後一時より製鐵所内判任官食堂に集合組、伍長會議を開きたるが會する者約三百名先づ議長に杉本建築工場組長、副議長に神谷鋳板工場組長を選定して議事に入りしが何れも憂色を湛へつゝ一日も早く圓滿に作業復舊を希望し滿場一致にて左の宣言決議文を可決し次で交渉委員の選定を爲し製鐵所當局と交渉せしむる事に決し三時散會せり

世界未曾有の大戰亂漸くにして終局を告げ平和の曙光に愁眉を開く暇もなく同戰亂の副産物たる一種の恐慌傳播し怠業同盟罷工の不祥事は各所に惹起し國家の爲眞に憂慮に堪へざる折柄今回當所に於ても其の渦中に陥り作業休止の已むなきに至れるは單に當局の損害たるのみならず國家産業界の大打擊たると共にまた一般當局從業者の生活を脅かすこと大なる吾人組伍長同士は此の秋に際し吾會員の任を全うせんが爲組伍長會を開き一日も早く圓滿の解決を圖らんが爲製鐵所當局の寛大の處置を冀ふ

尚前記委員は白仁長官に會見の上出來得るだけ速に作業復舊を冀願し極力部下の職工をして入所勤務せしむるに努力すべし

三月一日・二日・三日
思ひ切つた 棚ざらへ
春着 帯地 新柄陳列
かぎや呉服店
大阪天神橋三

二瀬炭礦も動搖す

製鐵所大同盟罷工が前回のそれよりも一層惡化したるより製鐵所にては[illegible]二瀬炭礦に關係を有せる縣[illegible]所在二瀬炭礦を警戒中なるが二十五日朝に至り同炭礦中央礦に於て不穏の行爲ありと報じ來れるより飯塚署は非番巡査を召集し更に其の警戒を嚴にせしが製鐵所直營の同製鐵所在幸袋製作所にても同職工中多數の友愛會員ありて二十五日既に若干名の該工が出したるが何れも製鐵所の其後の經過如何を觀望中の形勢にあるを以て是亦七十餘名の警官を派し警戒中なり(門司電話)

富永氏外四名

拘引さる

職工側の實行委員として極力斡旋中なりし富永氏外四名は二十六日午後三時中央區友愛會支部より拘引されたれば友愛會にては既に午後七時白仁長官と面會することゝなり居れる矢先とて少なからず面[illegible]ひ幹部にては直に[illegible]の[illegible]を行ひたり(八幡電話)

陳情委員上京

福岡縣下の炭礦地に於ける農作地の被害救濟に關し其筋に請願して鑛業法の改正を期すべく陳情委員を上京せしむることゝなりたる次第は既報の如くなるが右陳情委員大森縣農會副會長外六名は二十六日出發上京せり(福岡)

錦織剛清氏

相馬事件の發頭人こして知られたる錦織剛清氏(六十四年)は二十三日午後四時二十分東京市芝兼房町の自宅で死去した葬儀は二十八日午後一時途中葬列を[illegible]し淺草新谷町溝隆寺で執行家快なる遁話の中にも曾ては三萬圓も投じて花柳界の帮間全部に葬儀の裝束をさせ自ら死人を裝ひて輿の中に納まり生葬をやつたりした事は世人の記憶にある所晩年は社會改良に盡して居た(東京電話)

拂込取扱店
提供要項